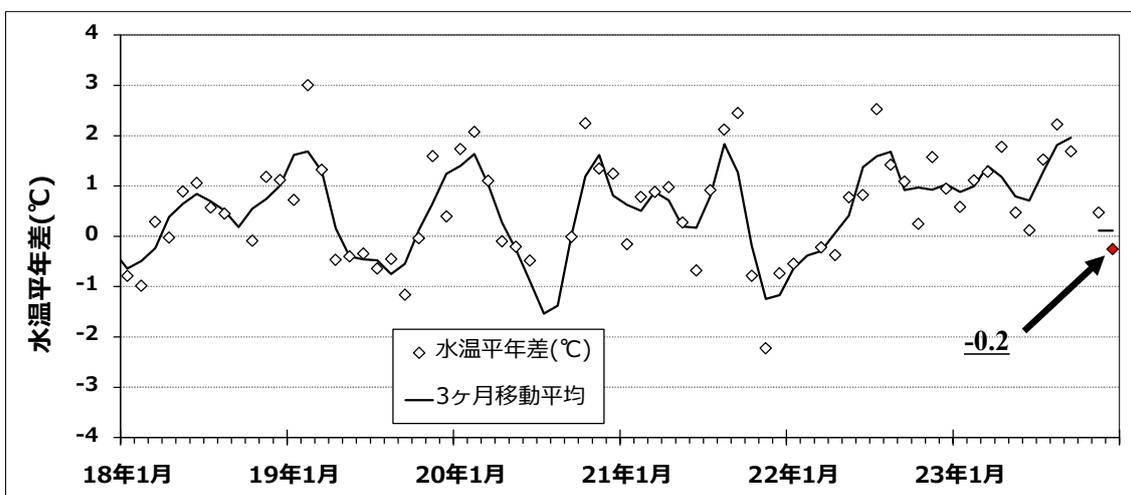


【水温の変動】

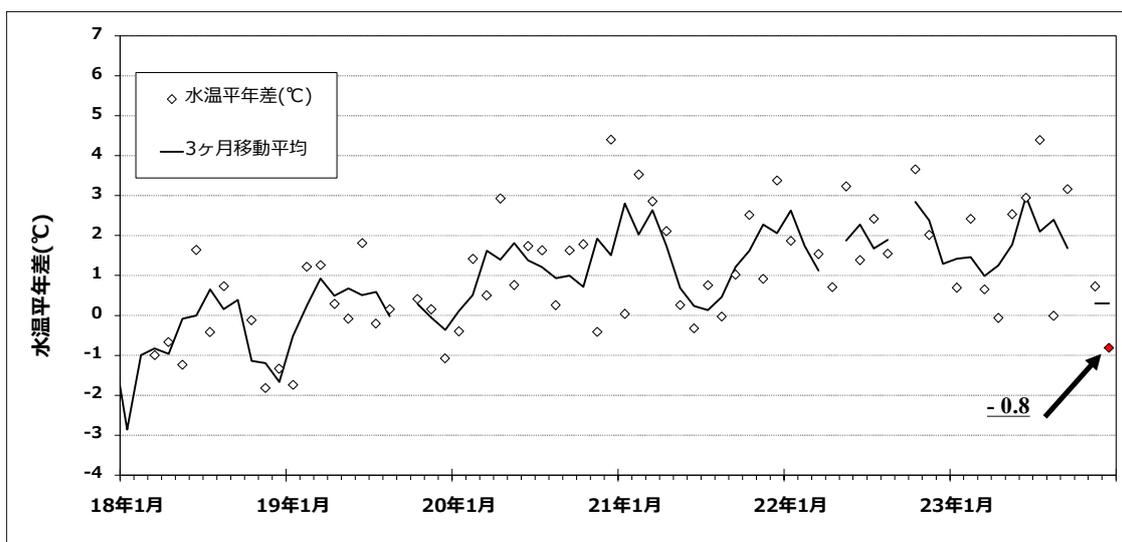
12月5日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差 -0.2°C 、沖合域水深 200m で -0.8°C となっています。12月5日の人工衛星画像によると、黒潮は大王崎沖北緯 31 度付近から石廊崎沖北緯 34 度付近を通過する A 型流路となっています。黒潮が渥美外海から離岸したことで、表層水温偏差と沖合 200m 深水温偏差が平年並み～やや低めとなっています。

湾口部表層 (A1) における水温平年差の変動



沖合域水深 200m (A4, A12, A19 の平均) における水温平年差の変動



※水温平年差は過去 10 年平均値との差

【渥美外海の海況】

水温の水平分布図によると、黒潮系暖水は、沖合南東から渥美外海沿岸域へ波及しており、赤羽根～県境付近までごく沿岸近くまで達しています。鉛直断面図によると、暖水は水深 100m まで一様に分布しています。また、等温線の分布から顕著な流れはないと考えられます。また、クロロフィル a 濃度は、湾口部で高いものの、渥美外海では一様に低く、ピークはみられません。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

